



名古屋文理栄養士専門学校

〒451-0076 名古屋市西区東岸町2-53-1

TEL(052)521-2251 FAX(052)521-2259

ホームページアドレス <http://spe.nagoya-bunri.ac.jp/index.shtml>

Eメールアドレス nyusispe@nagoya-bunri.ac.jp

〔理事長〕滝川 嘉彦 〔校長〕滝川 和郎

学務課入試係



→ 本校の特色

本学は、農林省（現在、農林水産省）財団食糧科学研究所が、1956年に名古屋栄養専門学院として設立され、その後名称変更を経て2005年4月より名古屋文理栄養士専門学校と校名を改称して現在に至っています。これまで一貫して有能な栄養士養成にとめ優れた栄養士を多く輩出していたことが、医療福祉施設をはじめ食品関連企業からの信頼と高い評価を受けています。活躍する卒業生は、東海圏のみならず他の地域の幅広い職場で健康的な食生活を支援する担い手として社会に貢献しています。

校内の施設は、給食管理実習室のほか調理実習室、実験室、パソコン室、図書室など充実した設備が整備され、遠隔授業にも対応できる通信環境も整っています。HACCPシステムに対応した給食管理実習室では、大量調理機器のみならず新調理システムも学べる機器など設置され、徹底的に現場を意識した授業を実施しています。衛生管理や給食業務全般の流れを理解するとともに、フードサービスに不可欠な給食マネジメント技術を身につけ実務に強い栄養士養成を目指しています。

栄養士の実務経験を重ねて管理栄養士の国家試験にチャレンジする者へ対策講座を開設し、卒業生に対してもサポートしています。国家試験の合格者数は東海北陸地域においてトップクラスを維持しています。

→ 学科説明

栄養士は、「栄養の指導を行う者」という国家資格です。指導者としてふさわしい人格の形成と知識、技術を修得するため、豊富な実験実習や校外実習、体験学習を通じて食育の実践力向上を目指した教育にも重点をおいています。各種の活動を通して食にまつわる知識や技術、さまざまな諸問題など、学生一人ひとりの興味、関心が深まるカリキュラムを備えています。また、医療や福祉施設、学校給食、保育園、一般企業など栄養士の活躍の場の

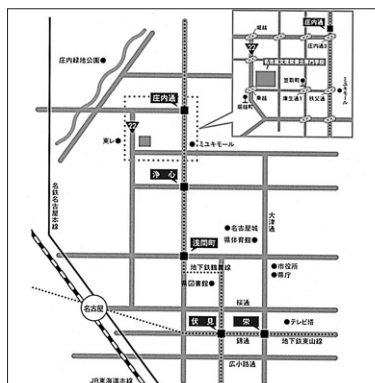
広がりとともに学びの裾野も広く設定し、調理、栄養、食品だけでなく、医学、衛生学におよぶ多彩な科目を体系的に学びます。学習スタイルは基礎から応用と順に進めるように工夫され、演習活動を通して他者とコミュニケーションを図りながら物事を成し遂げられる力も養います。経験



実践力を養う実習

就職状況 (2021年3月1日現在)

	2020年度			2019年度		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
卒業生数	8	11	19	3	19	22
就職希望者数	6	9	15	3	15	18
関連分野就職者数	6	9	15	3	13	16
関連外分野就職者数	0	0	0	0	2	2
進学者数	2	1	3	0	3	3
求人会社数	136			175		
求人人数	3,335			5,364		



→ 本校への交通機関

- ▶ 名古屋駅から市バス
名駅①系統（左回り）名古屋駅行き堀越町下車約1分
名駅⑬系統中切町・上飯田行きで笠取町下車約5分
名駅⑳系統平田住宅行き堀越町下車約1分
- ▶ 栄から市バス
栄⑫系統名塚中学・名西橋行きで堀越町下車約1分
- ▶ 地下鉄（鶴舞線）
庄内通下車約15分

豊かな教授スタッフが学生に寄り添いながら知識、技術を伝授することで、実務で即戦力となるプロの栄養士として活躍できる人材育成に力を入れています。

毎年12月に実施される全国栄養士施設協会の「栄養士実力認定試験」（例年、大学、短大、専門学校など約1万人が受験）では、本校学生の8割以上がA判定を取得し、中にはベスト20位以内にランクインして協会より表彰を受けた者もいます。さらに、名古屋文理大学をはじめとする四年制の管理栄養士課程大学へ編入する道もあり、希望する学生への支援も行っています。

→ 取得資格と合格状況

栄養士免許② 専門士② 食育栄養インストラクター②
管理栄養士免許⑤

→ 卒業後の進路状況（過去3年間卒業生実績）

卒業生の8割近くが栄養士として就職しています。在学中の就職支援では、専任スタッフによるキャリア支援講座が開講され、自信をもって就活できるよう充実した各種のサポートにより高い就職率へと結びついています。履歴書の書き方やメールの文章作成、集団面接のポイントなどきめ細やかな指導を行っています。また、社会で活躍する卒業生の講話では、在学中にしっかりと学ぶことの大切さや将来への目標、社会人としての心構えなど、有意義な学生生活を送るためのエッセンスを感じ取ることができます。実務経験ある教員との面談により進路相談にも対応し、将来の目標とする栄養士像に少しでも近づくためのアドバイスに心がけています。

〈主な就職先〉

藤田医科大学病院/海南病院/主体会/江南厚生病院/和合病院/佐藤病院/ヨナハ総合病院/安城更生病院/勝又病院
日清医療食品(株)/日本ゼネラルフード(株)/エムサービス(株)/株LEOC/シダックス(株)/株メフォス/フジ産業(株)/メキユー(株)/葉隠勇進(株)/株日本アグネス/株TMサプライ/株JPホールディングス/株グリーンハウス/株ニッコトラスト
からたけ保育園/ポッポ保育園/公明保育園/マナ第2保育園
東海福寿園/陽だまりの家/特別養護老人ホームあおい/株ケアマネージメント/(福)高佳会
ヤマシン醸造(株)/株隆祥房 他
また名古屋文理大学をはじめとする四年制大学への編入学の道もあります。

→ 特典

奨学金制度、入学検定料免除、特典付き入学検定制、各交通機関学割証

学校概要

全国高等学校進路指導協議会統一様式準拠

創立	昭和31年4月1日	教員数	21名（常勤 9名 非常勤 12名）
認可	昭和31年4月1日	在籍学生総数	[2020年度] 43名（男子 13名 女子 30名）
法人名称	学校法人 名栄学院		[2019年度] 50名（男子 17名 女子 33名）
課程名	衛生専門課程	校舎面積	1859.33㎡（総延床面積）
建学の精神（沿革） 教育方針	本学は、自由と責任を重んじ、学問を通して知識技術を磨き、健康を増進し、特に品性を高め、正しい歴史観と人生観を培い、世界から信頼される有為な人材の育成を目的としている。特に栄養、保健、衛生および調理に関する豊富な知識と栄養士業務につながる専門的な技能および技術を身につけたプロの栄養士の育成をめざしている。	建物の構造	鉄筋4階建 等
		寮	無
		主な施設設備の概要（厚生施設を含む）	実験室、実習室、講義室、給食管理実習室、コンピュータ室、視聴覚教室、図書館等 食堂、学生ホール、体育館、クラブ室等

学科・コース名 （昼・夜）	栄養士科 （昼）		
修業年数	2カ年		
募集定員	80名（男女）		
推薦入学	願書受付期間	本学学生募集要項参照	
	推薦基準	高等学校を卒業した者および、2022年3月卒業見込みの者で、出身高等学校長が適格であると認めて推薦する者	
	選考方法	面接・書類審査	
	選考料	免除	
	推薦定員	若干名（昨年度実績 定員の8%）	
	専願・併願区分	専願	
一般入学	願書受付期間	本学学生募集要項参照	
	選考方法	面接・調査書	
	試験科目	なし	
	選考料	免除	
AO入学	有（専・6 / 1(夜)～・昨年32%）		
授業時数	年間授業時間	一般科目	} 1年次930～960時間 / 2年次855～1095時間
		専門科目	
		実習	
	週授業時数	40時間以内（週5日制）	
学費	入学金	200,000円	
	年間授業料	650,000円（含む校外実習費）	
	設備費など	350,000円	
経費	教材費	} 約70,000円（1年次）	
	その他の経費		

就職あっ旋の方法	課外活動の種類	利用できる奨学制度・特待生制度
キャリア支援センターを窓口として就職希望者に対して、就職ガイダンスや個別ガイダンスを実施して就職指導にあたる。	栄養実態研究サークル、調理科学研究部、バスケットボール部、バレーボール部（女子）、バドミントン部、スープの会、卓球部、パティスリーサークル、Art同好会、ソフトボール同好会、ダンスサークル、食育サークル、茶道同好会 等 その他学校行事 体育祭、名栄祭（学校祭）、海外研修、卒業パーティー、企業説明会、キャリア支援講座等	<ul style="list-style-type: none"> ●日本学生支援機構奨学金 ●日本政策金融公庫（国の教育ローン） ●名古屋文理栄養士専門学校奨学金（2年次若干名） ●キャリアアップサポート入試制度

<p>特記事項（体験入学・見学会・その他）</p> <p>学校見学については随時受け付けています。事前にご連絡ください。 〈連絡先〉 〒451-0076 名古屋市西区東岸町2-53-1 名古屋文理栄養士専門学校 学務課入試係 TEL(052) 521-2251 FAX(052) 521-2259 なお、オープンキャンパスや入試相談会についてはホームページ上で随時お知らせいたします。</p>
